

研修名	専門課程 道路計画〔機能・活用〕 【集合】 (平成25年度～) (昭和40～平成22年度：「道路計画」、平成23～24年度：「道路機能高度化」)					事務	技術
							○
目的・重点事項	道路の機能を高度化し、有効活用を図る上での課題に、柔軟に対応できる企画立案能力を向上させることを目的とする。 以下の点を重点項目とする。 ① 他の交通機関との連携や既存の道路の最適利用など、道路の有効活用に関する企画立案能力の向上 ② 自転車、歩行者を含む多様な道路利用に関する企画立案能力の向上						
対象者	国土交通省、内閣府沖縄総合事務局、都道府県、政令指定都市、特別区、市、独立行政法人等の技術系職員で、道路に関する業務を担当し、次のいずれかに該当する者 ① 係長、専門官、専門員又はこれと同等の職にあると認められる者 ② ①の者と同程度の能力を有すると認められる者						
定員(人) ※目安	国土交通省	内閣府沖縄総合事務局	地方公共団体	独立行政法人等	団体	計	
	14	1	8	2		25	
研修期間	50.0時間 10日間			令和6年10月22日(火)～ 令和6年10月31日(木)			
カリキュラム内容 (予定時間)	1. 講義(24.0) ① 道路交通の現況と課題、これからの道路 社会資本の計画体系と道路計画 ② 道路を賢く使う取組み、道路の高度情報化、モビリティ・デザイン、TDMと社会実験、モビリティ・マネジメント、公共交通との連携、拠点施策の取組 ③ 道路の有効活用、自転車通行空間の整備、道路空間のオープン化 等 2. 課題研究(14.0) (昨年度テーマ：①新技術や交通マネジメントを活用した渋滞対策の加速、 ②車だけでなく、マルチモードが共存する道路空間活用のあり方) 3. 演習(7.0) (昨年度：道路計画における合意形成の理論と実践) 4. 現場見学(3.0) (昨年度：新宿駅南口地区基盤整備事業「バスタ新宿」) 5. その他(2.0) 入校式、修了式、オリエンテーション、ガイダンス 計 50.0						
前年度からの 主な変更点							
担当 国交大・本省	国交大：建設部 建設技術研修分析官 (TEL：042-321-0645) 本省：道路局 企画課 道路経済調査室						
備考	テキスト代、実習教材費(予定)35,000円、現場実習費(移動交通費)(予定)1,200円						